

好奇心の授業

大学や専門学校の授業ってどんなだろう？
実はおもしろいものや身近な話題につながるものがいっぱい。
将来学びたい内容が見つかるかも？

<http://shingakunet.com/kokishin/>

リクナビ進学 好奇心の授業 検索



どんな作品を生み出すかは自分次第

子どもが文字を覚えるのは、早いほうがいいのかは限らない？

文字が読めることで失われる、子どもなりの世界観

最近では小さな子どもにも早期よりしっかりとした教育を行う家庭が増えてきました。3歳で字が読めるという例も少なくありません。そうした子どもが増えるかどうか。例えば絵本が起るのでしょうか。例えば絵本を与えたとしても、まだ文字が読めない子どもであれば、物語を読んでもらいながら絵を楽しみます。絵から自分の世界を作り、何度も同じ絵本を楽しみます。あなたにも何度も繰り返し読んだ思い出の一冊があり、そこに自分なりの物語を作り上げ楽しんだことと思います。しかし文字が読めるようになると、文字に気を取られ、言葉のリズムを楽しむことや絵から想像することが少なくなります。一度読んでしまった絵本に興味を示さず別の絵本を求めるようになる、といったことも。これって子どもにとって本当にいいことでしょうか？

子どもには、子どもにしかできない体験を

子どもの遊びの特徴は「無時間性」にあります。時間に縛られることなく、気が済むまで遊びに没頭する。それも、ただの空き箱や数個のブロックで、飽きることなく遊び続けたものでした。けれども最近では完全に出来上がったテーマパークへ行き、遊び方が決められたおもちゃで遊ぶように。こうした「遊ばされている」状況では、子どもの想像力はなかなか育たないかもしれません。

子どもの時期には、子どもらしく遊ぶことがとても大事。夢中になって、自分なりに工夫をしながら遊ぶという経験が、子ども独自の世界観を広げていきます。けれども遊びの要素をすべて与えられるような状況では、学習に限らずさまざまな面の意欲も低くなります。実際に、たくさん遊んだ子どものほうが学力が高いという調査結果も出ています。早期からの勉強も重要ですが、子どもには子どもの時代にしかできない

「おもしろいマンガ」ってどいつが描くものになるの？

マンガを、自分でも描いてみたい！

日本のマンガ市場は、子ども向けから大人向けまで細かく年代に分かれて、取り残される年代が無いというくらい。ギャグマンガや恋愛マンガ、スポーツマンガやアクションマンガ、SFマンガ…。そのジャンルは実に多様で自由です。

ところで、マンガ家になりたい人がまず思うことは何でしょう。それは「絵を描くスキルを上達させること」

ではないですか？でも、人気の出るマンガを描くためには、それだけでは十分だとは言えません。

人気のあるマンガって…？
「物語」としておもしろいマンガ

「人気が出るマンガには条件がある」と言ったら、過言かもしれません。しかし読者がいなければ、せっかくマンガを描いても人気がある、面白い、と評価されることもありませんよね。

たくさんの人に読んでもらうために必要な条件に、まず「ストーリー構成がしっかりしていること」が挙げられます。読み始めてから、後半に差し掛かってやっと主人公が何をしたかったのかかわかるようなストーリーでは、おもしろくないと判断されても仕方ありません。好みはあっても、まずどんな読者にとっても内容が明確であることが大切です。ほかに、その時代のブームを取り入れたものなど、マンガの効果を人気の出る場合もあります。基本的には構成がしっかりしたストーリーが重要なのです。突然おもしろいストーリーを考え

体験を多くさせること。親はもちろん、保育や幼児教育に携わる人にも、今そういう意識が求められているのです。



この分野を専門とする佐々木由美子先生

児童文化学

子どもを対象とした絵本や紙芝居、人形劇などの文化財の内容や、与える影響などを研究する。子ども自身が主体的に作り出す生活や文化を研究する場合も。

ここでも学べます
東京未来大学
こども心理学部 こども心理学科

マンガ学

マンガの歴史、コマ割り、吹き出しなどマンガによるさまざまな表現手法、魅力的なストーリー作りなどを学び、マンガでしかできない魅力的な表現を追求する。

ここでも学べます
東京デザイン専門学校
マンガ科